

(一社)日本詩人クラブ 2025年 12月 例会のご案内

日時 2025年12月13日(土) 14時～17時

資料代500円

会場 今井館聖書講堂

司会 岩重桃平

●会員による詩の朗読 恭仁涼子 池田久雄 佐藤克哉

●講演

「今を映す中国朝鮮族の詩」 柳春玉

要旨：本講演では、改革開放以降の中国朝鮮族の詩10篇を紹介し、詩人たちの誠実な声を通じて彼らの独自の世界観を浮き彫りにします。自己のアイデンティティを維持しながらも、豊かな色彩を積極的に表現し続けている彼らの詩は、他の類似作品とは一線を画す創作様式が多く見られます。表現にはやや粗野さが見受けられるものの、それが中国朝鮮族の固有の情緒を形成し、彼らの真の生活や心情を理解する上での重要な要素となっています。このような試みを通して、朝鮮族の詩の本質と魅力に触れ、その真髄を理解する手助けとなれば幸いです。

■講師プロフィール

詩人。在日本中国朝鮮族。1978年、中国黒龍江省寧安市生まれ。2000年留学のため来日。

中国詩歌学会、中国延辺作家協会、日本詩人クラブ、日本現代詩人会、日本文藝家協会、埼玉詩人クラブ、千葉詩人クラブ会員。詩誌「花」同人。 これまでに『東京の表情』（日本語詩集、2021年）土曜美術社出版販売、『故郷の星たち』（中国朝鮮語詩集、2023年）中国民族出版社、『中国現代詩人文庫』全5巻（翻訳詩集、2024年）土曜美術社出版販売などを刊行。2021年から2025年まで、詩誌「詩と思想」と詩人集に中国現代詩300余篇を翻訳掲載。受賞歴には、中国「吉林新聞」体験手記賞、韓国「同胞文学」海外作家賞（詩特別賞）、韓国「郷村」文学賞などがある。

接木の痛みを堪え

遠くの隣人

他人の

根から

耐え忍びながら育った

李三月（1933～2009）「接ぎ木」より

* 忘年会 *

例会終了後忘年会を行います。

どなたでもご参加ください。

会費 4,000 円

例会・国際交流理事

丹羽京子（TEL090-1107-1199）

NPO法人今井館教友会 今井館聖書講堂

東京都文京区本駒込6-11-15

●JR山手線 駒込駅 南口 徒歩11分

●地下鉄南北線 駒込駅 2番 徒歩8分

●地下鉄都営三田線 千石駅 A4 徒歩5分

六義園をめざしてください。六義公園運動場側です。

